

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2014年6週 (2月1週 2/3~2/9)
2014年1月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、
感染性胃腸炎、麻しん・風しん、3月1日から
3月7日は「子ども予防接種週間」です。
定点医療機関コメント
インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶血性レンサ
球菌感染症、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(27)、レジオネラ症(1)、後天性免疫不全症候
群(8)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、梅毒(1)

2014年1月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1) 【1月22日警報発令】

6週の定点当たり報告数は38.05、5週7,222人 6週7,419人(1.03倍)です。2013/2014シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(ビクトリア系統、山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】"インフルエンザ警報"を発令します!(愛知県)
<http://www.pref.aichi.jp/0000068510.html>
インフルエンザ警報について(1月29日豊田市警報発令)
http://www.city.toyota.aichi.jp/division/as00/as03/1252134_17451.html#keiho
保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html
2013/14シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri13_14.html
平成25年度 今冬のインフルエンザ総合対策について
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/infuenza/>

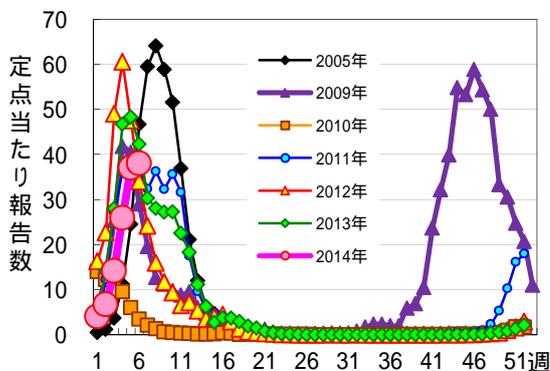


図1 インフルエンザ

集団かぜの発生について(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
2月6日	一宮、瀬戸、春日井、津島、新城、知多、師勝、衣浦東部	集団かぜの発生について(2013-2014シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/ichiran.pdf 【参考ページ】インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/index.html
2月7日	瀬戸、半田、衣浦東部	
2月10日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、師勝、衣浦東部	
2月12日	瀬戸、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、師勝、衣浦東部	

感染性胃腸炎(図2)

6週の定点当たり報告数は6.81、5週1,660人 6週1,240人です。保健所別では、津島が警報レベル(定点あたり20.0人以上)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出情報
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>
ノロウイルス感染症と嘔吐下痢症の集団発生(1月14日更新)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/nlv.html>

麻しん・風しん(2月12日現在)

愛知県の2014年の麻しん報告数は、8件(0歳1名、1歳2名、2歳以上15歳未満3名、15歳以上2名)で、予防接種歴別に見ると、接種歴無6件、不明2件です。風しん報告数は3件です。
【参考ページ】麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2013.html
東アジアと東南アジアにおける麻しんの流行状況について(1月30日更新)
<http://www.forth.go.jp/topics/2014/01301635.html>

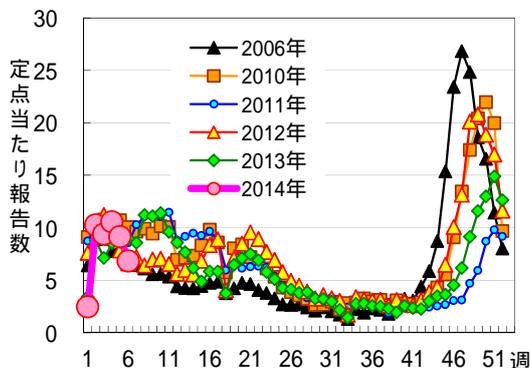


図2 感染性胃腸炎

3月1日から3月7日は「子ども予防接種週間」です。

子どもに対する予防接種への関心を高め、予防接種率向上を図ることを目的として「子ども予防接種週間」が実施されます。

麻しん・風しん予防接種(MR)の平成25年度の第2期対象者(平成19年4月2日~平成20年4月1日生まれ)は平成26年3月31日までに接種しましょう。

【参考ページ】平成25年度「子ども予防接種週間」の実施について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/topics/tp130117-1.html

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザA型 29名 B型 15名
半分以上にワクチン接種歴あり。そのためか比較的軽い例もあり

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ 少数ではあるがB型を認める。

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザA型 25名 B型 4名

【一宮市 水野医院】

インフルエンザA型 20名、B型 8名

【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会尾西病院】

インフルエンザA型 13名、B型 8名で、
先週より減少

手足口病少し

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザA型 52名(うちH1N1(2009)10名)

インフルエンザB型 11名でした。

A群溶連菌 5名、マイコプラズマも多いです。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ 33名(A型 25名、B型 8名)
溶連菌感染症 7名

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザA型 55例

インフルエンザB型 10例

RS 散発

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザ 25名中 A型 22名、
B型 3名でした。

【北名古屋市 田中クリニック】

インフルエンザ 29名、内 B型 3名

感染性胃腸炎未だ続いて居ります。

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザA型 22名、インフルエンザ
B型 8名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザ 59名中 A B両方 1名、
B型 12名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザA型 18名、B型 6名

その他溶連菌感染症、突発疹等

インフルエンザ以外の感染症は落ち着いています。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザA型 107人 インフルエンザ
B型 8人

溶連菌感染症 5人 水痘 1人 手足口病
1人でした。

インフルエンザAに今年に入って2回罹患し
た子が1人いました。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザ 49名中、B型 17名でした。

【日進市 おぎす内科クリニック】

インフルエンザA型 11 インフルエンザB型 0

【長久手市 医療法人水野内科】

咽頭結膜熱が1名認められました。

【長久手市 医療法人スズムラ眼科医院】

インフルエンザA型 依然大流行中です。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ 多数続発中

感染性胃腸炎少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザ 99名 小児 34名

成人 65名 B型 7名 他はA型です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザは平衡状態です。感染性胃腸
炎も続いています。水痘が少し増えてきました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザA型 男4人 女8人

インフルエンザB型 男1人 女3人

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザはやや増加してきました。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

インフルエンザ A 17名 インフルエンザB 1名

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザA型 15名 インフルエンザ B型 1名
H1N1 1名

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザA 39名 インフルエンザB 4名

【半田市 ひいらぎこどもクリニック】

インフルエンザA型 30名

インフルエンザB型 12名

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザA型 28名 B型 2名

ノロウイルス胃腸炎 4名

アデノウイルス感染症 1名(2歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

イムノエースFluA(+) 17名

イムノエースFluB(+) 6名

StrepA(+) 6歳男

イムノエースRSV Neo(+) 1か月女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザA型 27人

インフルエンザB型 6歳女、7歳女、3歳男、
5歳男

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザA型 18名

インフルエンザB型 6名

【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】

9歳女 インフルエンザAとH1N1(2009)と同時陽性

【岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院】

インフルエンザA型 19名 B型 2名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザA型 45名 B型 9名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

アデノ 男4歳、男1歳

インフルエンザA 43名 B25名

溶連菌増加中です。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ 合計100名(A型82名、
B型18名)

2/9(日)当直 インフルエンザ 74名(A型
61名、B型3名)

【岡崎市 栗屋医院】

インフルA 27名、H1N12009 2名

アデノ 4歳男

10歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザA 29 B 13

ピークを過ぎた気がします。

【岡崎市 医療法人深田小児科】

インフルエンザA型 22名 B型 12名

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

A型 インフルエンザ増加

(A型主体、たまにB型)

【碧南市 永井小児クリニック】

インフルエンザ A 23名 B 7名

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザ依然として流行

ほとんど60歳以下 A型 76人 B型 17人

【西尾市 山岸クリニック】

アデノウイルス感染症 3歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザA型 83名(うちH1N168名)、
B型 6名、合計89名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザA型流行中

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

インフルエンザA型 11名

【豊橋市 おだかの医院】

インフルエンザA型 32名、B型 2名、
合計34名(20歳以上が24名)

【豊橋市 医療法人杉浦内科】

異型肺炎 1歳男 4歳男

【豊橋市 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター】

インフルエンザA型 55名

B型 4名

【豊川市 豊川市民病院】

病原性大腸菌O1 10歳女

病原性大腸菌O1 6歳男

インフルエンザA型 70名

B型 9名

【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2014年2月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun131014.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2014年6週報告数			2014年総計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	8	1	2	70	19	14
豊田市				2	1	
豊橋市	2	2		8	3	1
岡崎市	1			1		
一宮	3	1		12	5	1
瀬戸				14	4	3
半田	1			4	1	1
春日井	2			10	2	1
豊川				3	1	
津島				2	1	
西尾	1		1	8	3	4
江南	1			3		1
新城	1	1		1	1	
知多	5	1	2	12	3	3
師勝				2		
衣浦東部	2		1	8	1	3
合計	27	6	6	160	45	32

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	81歳	女	肺炎型	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	22歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	35歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	33歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	名古屋市	23歳	男	無症候性キャリア	その他	国内
5	名古屋市	34歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	57歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	49歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
8	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	74歳	女	無	国内
2	江南	79歳	女	無	国内
3	知多	83歳	女	不明	国内
4	衣浦東部	69歳	男	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊川	39歳	男	無症候	性的接触	国内

2014年1月報 (2014年2月10日現在、診断週に基づく集計)

1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2012～2014年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2014年1月			2013年	2012年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	69 (13)	58 (11)	127 (24)	1,917 (470)	1,942 (485)
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	13 (1)
	腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)	2 (1)	2 (1)	211 (58)	163 (59)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	バラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	0	0	2	1
	A型肝炎	0	0	0	4	7
	チクングニア熱	0	0	0	1	0
	つつが虫病	0	0	0	4	2
	デング熱	1	0	1	14	13
	マラリア	0	0	0	8	3
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	1	1	2	64	50
五類 (18)	アメーバ赤痢	3	6	9	62	62
	ウイルス性肝炎	1	0	1	16	12
	内訳 B型	1	0	1	7	11
	内訳 その他	0	0	0	9	1
	急性脳炎	0	2	2	23	21
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	11	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	2	8	11
	後天性免疫不全症候群	1	2	3	98	117
	内訳 無症候性キャリア	0	1	1	63	74
	内訳 AIDS	1	1	2	33	39
	内訳 その他	0	0	0	2	4
	ジアルジア症	0	0	0	2	2
	髄膜炎菌性髄膜炎*	-	-	-	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*	2	0	2	13	-
	侵襲性肺炎球菌感染症*	13	1	14	76	-
	先天性風しん症候群	0	0	0	2	0
	梅毒	1	2	3	54	39
	内訳 無症候	1	1	2	25	21
	内訳 早期顕症	0	1	1	24	13
	内訳 晩期顕症	0	0	0	5	5
	破傷風	0	0	0	5	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	6	5
	風しん	2	0	2	375	98
	麻しん	5	3	8	25	39
	総計	99	79	178	3,022	2,620

* 2013年4月1日から、5類感染症(全数把握対象疾患)に「侵襲性インフルエンザ菌感染症」及び「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加されました。なお、この2疾患()を除く細菌性髄膜炎については引き続き基幹定点把握対象疾患です。同じく5類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2014年1月			2013年 累計	2012年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	60	49	109	1,746	1,620
	性器ヘルペスウイルス感染症	35	27	62	707	709
	尖圭コンジローマ	17	8	25	382	358
	淋菌感染症	16	28	44	708	637
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	42	13	55	1,212	1,361
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	0	3	84	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	9	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2013年5月6日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (44疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症* (1疾病)	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2013年5月6日から、指定感染症に「鳥インフルエンザ(H7N9)」が追加されました。

愛知県感染症情報

2014年6週(2014年2月3日～2014年2月9日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋を除く)	インフルエンザ定点	小児科定点											眼科定点		基幹定点					インフルエンザによる入院患者
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
計	5,481	50	38	214	815	112	13	1	38	0	2	48	0	7	0	0	5	0	0	44
～6ヶ月	15	14			6	4			1											1
～12ヶ月	92	9	1		47	3	2		18											3
0歳																				
1歳	212	18	9	3	73	13	5		15		1	1								3
2歳	250	6	5	6	70	21	2		2			4	1							2
3歳	269	3	5	24	64	17	1		1			2								
4歳	345		8	36	82	18	1		1			6								3
5歳	403		3	32	71	18						4								2
6歳	402		4	37	55	8	1	1				13								
7歳	344			12	35	2					1	6								
8歳	311			18	29	5	1					5								1
9歳	236		1	9	35	1						1								1
5歳～9歳																	2			
10歳～14歳	707			23	83	2						4								1
15歳～19歳	151			4	13								1							2
20歳～			2	10	152							2								
20歳～29歳	355												3							2
30歳～39歳	506												1			1				1
40歳～49歳	401																			
50歳～59歳	186												1							
60歳～69歳	151															1				9
70歳～																				
70歳～79歳	91																			7
80歳以上	54															1				6